

政策目標 9 世界都市として魅力と活力あふれる街（都市空間創造戦略）

施策 1 魅力ある市街地 ①複合型高度利用市街地

快適で効率的な都市活動が展開できるよう、都心周辺や地下鉄沿線などの利便性の高い地域において、良好な都市景観の形成を図るとともに、集合型の居住機能と、居住者の生活を支える多様な機能の立地を促進することで、比較的高密度で質の高い複合型の市街地を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
景観計画推進事業 政) 都市計画部 [111 百万円]	札幌らしい魅力的な都市景観を形成していくため、景観計画などを見直し、届出制度の運用改善や景観資源の積極的な保全・活用などの取組を展開します。 ○新たな届出協議手法の実施 H26：－ ⇒ 目標 (H29)：実施
地域街並みづくり推進事業 政) 都市計画部 [12 百万円]	地域特性に応じた魅力的な景観づくりを推進するため、路面電車沿線の地区をモデルとし、地域と協力しながら景観まちづくり指針を作成するなどの取組を行い、その取組を他の地域へと展開させます。 ○景観まちづくりの取組を行っている地区数 H26：1 地区 ⇒ 目標 (H31)：3 地区

施策2 魅力ある市街地 ②郊外住宅地

自然と調和したゆとりあるライフスタイルが実現できる低層住宅を主体とした良好な市街地を維持・保全していくために、日常生活を支える機能の立地などに対応するとともに、地域の足となる生活交通の適切な確保などにより、高齢者も含め、誰もが安心して暮らすことができる住宅地を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
もみじ台地域再構築推進事業	もみじ台地域が今後直面する、更なる少子高齢化や人口減少による地域課題に対応するため、市営住宅の建て替えを契機とした土地利用再編も見据え、地域とともにまちづくりの方向性を検討します。
政) 都市計画部 [10 百万円]	○まちづくり指針の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：策定
郊外住宅地のエリアマネジメント推進事業	郊外住宅地における地域課題を解決するために、市有施設の跡活用等を通じて、良好なコミュニティの形成や、地域住民などが主体となった活発なまちづくり活動を促進する取組を行います。
政) 都市計画部 [58 百万円]	○エリアマネジメント ⁸⁶ の取組を行った地域 (累計) H26：2 地域 ⇒ 目標 (H31)：6 地域
空き家対策事業	適切に管理されていない空き家は、防災・防犯、衛生・環境など様々な問題を引き起こすため、新たに除却に対する補助を行うなど、空き家対策を進めます。
都) 建築指導部 [50 百万円]	○危険空き家の除却件数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：75 件

⁸⁶ エリアマネジメント：一定の地域（エリア）における、魅力・活力や美観など、地域の価値を維持・向上させていくための地域住民・商業者・事業者・地権者などによる主体的な取組。

施策3 魅力ある市街地 ③一般市街地

戸建て住宅や集合型の住宅など、地区の特性に応じて、多様な居住機能と居住者の利便や就労などを支える機能が相互の調和を保って立地する住宅地と、工業地・流通業務地などから構成される市街地を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
<p>まちの価値を高めるルールづくり推進事業</p> <p>政) 都市計画部 [8百万円]</p>	<p>市街地環境の維持向上を図るため、地域における土地の活用や建物の建て方に関するルールづくりなどを支援することにより、良好な住環境形成に向けた取組を推進します。</p> <p>○住環境の維持向上を目的としたまちづくりルール策定地区数 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：1地区</p>
<p>分譲マンション適正管理推進事業</p> <p>都) 市街地整備部 [12百万円]</p>	<p>マンションの維持管理などに関する相談窓口を設置するとともに、管理組合等に対する管理セミナーを実施することにより、マンションの適正な維持管理を推進します。</p> <p>○分譲マンション管理相談件数 (累計) H26：1,828件 ⇒ 目標 (H31)：10,850件</p>

施策4 活力があふれ世界を引きつける都心

高次な都市機能の集積や魅力ある都市空間の創出など、札幌の顔にふさわしいまちづくりを重点的に進めていくことで、市民生活の質の向上を支えるとともに、札幌を世界にアピールすることができる、魅力的な都心を目指します。

また、地下歩行ネットワークや路面電車の更なる活用などによる回遊性の向上や、都心内の交通環境の改善を図るなど、人を中心としたまちづくりを推進します。

さらに、エネルギー消費量の抑制や、災害時の都市活動の持続性を高めるために、先進的かつ積極的なエネルギー施策の展開により、環境首都・札幌を象徴する都心を目指します。

主な事業

事業名・担当部 〔計画事業費〕	事業内容
	活動指標
都心エリアマネジメント推進事業	都心が継続的に発展し札幌全体をけん引する役割を担っていけるよう、地区・街区のエリアマネジメント ⁸⁶ を推進するとともに、官民連携による都心全体のマネジメント体制を構築し、重層的なマネジメント体制を確立します。
政) 政策企画部 〔52百万円〕	○官民協働によるマネジメント体制の構築 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：構築
創成東地区まちづくり推進事業	持続可能な集約連携都市の実現に向けて、創成東地区のまちづくりを推進していくため、まちづくりの担い手となる組織の設立や、東4丁目線の活用、中央体育館跡地の整備・活用に係る事業を進めます。
政) 政策企画部 〔33百万円〕	○まちづくり組織の設立 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：設立
創世交流拠点まちづくり推進事業	創世交流拠点において、創成東地区へのにぎわいやみどりの連続化を目指す空間形成の在り方を検討するとともに、大通東1街区の整備に向けた検討を進めます。
政) 政策企画部 〔50百万円〕	○大通東1街区の整備計画の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：策定
(仮称)都市文化創造ゾーンまちづくり推進事業	創世交流拠点と大通交流拠点の発展的連携を目指す(仮称)都市文化創造ゾーンのまちづくりについて、官民協働で研究会を立ち上げ、方向性を示すガイドラインなどの検討に取り組みます。
政) 政策企画部 〔12百万円〕	○まちづくりガイドラインの策定 H26：－ ⇒ 目標 (H29)：策定
市有地を核とした都心のまちづくり推進事業	都心の市有地を有効に活用するため、大通西1丁目、北1条西12丁目の市有地を核とした周辺エリアについて、まちづくり推進計画などの検討に取り組みます。
政) 政策企画部 〔98百万円〕	○まちづくり推進計画の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：策定
都心まちづくり計画改定	社会経済情勢の変化に対応するとともに、都市間競争の中で確固たる地位を確保していくため、都心まちづくり計画 ⁷⁶ を改定し、今後の都心まちづくりの新たな方向性を示します。
政) 政策企画部 〔8百万円〕	○都心まちづくり計画の改定 H26：－ ⇒ 目標 (H27)：改定

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
大通交流拠点まちづくり 推進事業 政) 政策企画部 [201 百万円]	地下鉄南北線大通駅コンコースについて、札幌駅前通地下歩行空間や民間ビルなどと連携した整備を行います。 ○大通交流拠点地下広場の整備 H26：一部供用開始 ⇒ 目標 (H27)：整備完了
札幌創世 1.1.1 区北1 西1地区市街地再開発 事業 政) 都市計画部 [14,529 百万円]	民間活力を活用し、都心にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、札幌市民交流プラザなどを整備するため、北1西1地区の再開発事業を支援します。 ○札幌創世 1.1.1 区北1西1地区市街地再開発事業の進捗 H26：工事着工 ⇒ 目標 (H29)：工事しゅん功
北4東6周辺地区市街地 再開発事業 政) 都市計画部 [4,271 百万円]	民間活力を活用し、創成東地区にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、中央体育館などを整備するため、北4東6周辺地区の再開発事業を支援します。 ○北4東6周辺地区市街地再開発事業の進捗 H26：都市計画決定 ⇒ 目標 (H31)：一部工事完了
北8西1地区市街地 再開発事業 政) 都市計画部 [8,247 百万円]	民間活力を活用し、札幌駅交流拠点にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、エネルギーネットワークの強化などを進めるため、北8西1地区の再開発事業を支援します。 ○北8西1地区市街地再開発事業の進捗 H26：都市計画決定 ⇒ 目標 (H31)：工事しゅん功
南2西3南西地区市街地 再開発事業 政) 都市計画部 [6,293 百万円]	民間活力を活用し、都心にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、路面電車の停留所と一体となった空間などを整備するため、南2西3南西地区の再開発事業を支援します。 ○南2西3南西地区市街地再開発事業の進捗 H26：事業化検討 ⇒ 目標 (H31)：工事しゅん功
北2西3北地区優良建築 物等整備事業 政) 都市計画部 [481 百万円]	民間活力を活用し、都心にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、地下歩行ネットワークの強化などを進めるため、北2西3北地区の優良建築物等整備事業 ⁸⁷ を支援します。 ○北2西3北地区優良建築物等整備事業の進捗 H26：事業認可 ⇒ 目標 (H28)：工事しゅん功
札幌市民交流プラザ整備 事業 市) 文化部 [27,136 百万円]	札幌における多様な文化芸術活動の拠点としての機能と、多くの人々が交流する場としての機能を合わせ持つ札幌市民交流プラザ（札幌文化芸術劇場、札幌文化芸術交流センター）を整備します。 ○札幌市民交流プラザの整備 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：供用開始
札幌文化芸術劇場・ 札幌文化芸術交流センター 運営事業 市) 文化部 [3,130 百万円]	札幌市民交流プラザ内の札幌文化芸術劇場、札幌文化芸術交流センターについて、具体的な事業計画などを検討し、平成30年10月に供用を開始します。 ○札幌文化芸術劇場、札幌文化芸術交流センター年間来館者数 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：70万人
中央体育館改築事業 ス) スポーツ部 [10,500 百万円]	耐震性能が低く設備が老朽化している中央体育館を建て替え、今後の市民のスポーツ活動を支える中核施設としての機能を確保します。 ○中央体育館の改築 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：供用開始

⁸⁷ 優良建築物等整備事業：民間の建築活動の適切な誘導により市街地環境の向上などを図るため、国や地方公共団体が必要な助成を行うもので、国の制度要綱に基づく法定手続きに依らない事業。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
西2丁目地下歩道整備 事業 建) 土木部 [2,832百万円]	創世1.1.1区北1西1地区の再開発により増加する交通量への対応、公共交通機関へのアクセス性向上、都心の回遊性向上を目指し、地下歩道を整備します。 ○西2丁目地下歩道の整備 H26：事業認可 ⇒ 目標 (H30)：供用開始
札幌市図書・情報館整備 事業 教) 中央図書館 [2,167百万円]	都心に集うビジネスパーソンや市民、来訪者に調査支援サービスや札幌の魅力に関する情報、交流を促進する空間を提供し、市民の仕事や暮らしの課題を解決する課題解決型図書館として札幌市民交流プラザ内に「札幌市図書・情報館」を整備します。 ○調査支援サービスの提供件数 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：3,000件

施策5 多様な交流を支える交流拠点 ①地域交流拠点

周辺地域の住民もアクセスする場としての利便性を高めるため、区役所などの公共機能や、商業・業務・医療などの中核的な都市機能の集約を図るとともに、これらの都市機能を身近に利用することができるよう、居住機能との複合化を促進します。

特に地下鉄始発駅などでは、後背圏に広がる郊外部の住民の生活を支えるとともに、近隣の魅力資源や隣接都市、空港・港湾などとの連携を意識した多様な機能を整備したゲートウェイ拠点として位置付け、その機能向上を促進します。

また、空中歩廊⁸⁸や地下歩行ネットワークへの接続など、冬でも快適な歩行空間の創出を促進することなどにより、高齢者なども安心して暮らすことができるまちを目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
民間投資を活用した市街地再開発事業等の推進 政) 都市計画部 [999 百万円]	民間活力を活用し、土地の高度利用と都市機能の更新を図るため、公共施設の整備や防災性の向上など、安全で快適な都市環境の形成が進められる市街地再開発事業や優良建築物等整備事業 ⁸⁷ を支援します。 ○新規再開発事業などに着手した地区数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 2 地区
新さっぽろ駅周辺地区まちづくり推進事業 政) 都市計画部 [491 百万円]	新さっぽろ駅周辺地区において、地域交流拠点の中でもゲートウェイ拠点にふさわしい多様な機能集積及び歩行者ネットワークの充実などを図り、にぎわいや活性化をもたらすまちづくりを推進します。 ○区域内において高度利用されている土地の割合 H26: 79% ⇒ 目標 (H31): 92%
篠路駅周辺地区まちづくり推進事業 政) 都市計画部、(建) 土木部 [1,880 百万円]	篠路駅周辺地区において、土地区画整理や鉄道高架及び周辺道路整備による社会基盤整備を進め、にぎわいや活性化をもたらすまちづくりを推進します。 ○土地区画整理事業、鉄道高架事業、周辺道路整備事業の進捗 H26: 検討 ⇒ 目標 (H30): 着手
北3東11周辺地区市街地再開発事業 政) 都市計画部 [2,458 百万円]	民間活力を活用し、JR 苗穂駅周辺にふさわしい土地の高度利用や都市機能の更新を図るとともに、空中歩廊などを整備するため、北3東11周辺地区の再開発事業を支援します。 ○北3東11周辺地区市街地再開発事業の進捗 H26: 都市計画手続 ⇒ 目標 (H31): 一部工事完了
市街地整備の初動期支援事業 政) 都市計画部 [11 百万円]	地域との協働によるまちづくりを促進するため、地域主催の勉強会などの市街地整備の初動期の活動に対する支援や検討を行います。 ○再開発の検討を開始した地区数 (累計) H26: - ⇒ 目標 (H31): 4 地区
中央区役所庁舎整備事業 市) 地域振興部 [38 百万円]	老朽化が進んだ中央区役所庁舎について、今後整備を進めるに当たっての課題を整理し、施設概要や整備方法を検討して庁舎整備基本計画を策定します。 ○庁舎整備基本計画の策定 H26: - ⇒ 目標 (H29): 策定

⁸⁸ 空中歩廊：高架などによって車道から立体的に分離された歩行者専用の通路。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
白石区複合庁舎等整備 事業 市) 地域振興部 [8,186百万円]	白石区役所、保健センター、区民センター、区保育・子育て支援センター及び(仮称)絵本図書館を白石区複合庁舎として整備するとともに、立地特性を活かした民間機能の導入を図ります。 ○複合庁舎の整備 H26：整備着工 ⇒ 目標 (H28)：供用開始
安全・安心な緑道整備事業 南) 土木部 [79百万円]	利用者の安全・安心や利便性の向上、快適な住環境の整備などを目指し、老朽化や歩行環境の悪化など多くの課題を抱える真駒内地区緑道などの再整備を行います。 ○真駒内緑町・泉町緑道再整備率 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：100%

施策6 多様な交流を支える交流拠点 ②高次機能交流拠点

産業や観光、文化芸術、スポーツなど、札幌が持つ高次な都市機能を十分に生かし、国内外からの投資や多くのヒト・モノを呼び込むために、必要な基盤・施設の整備や、都市機能を更に高める取組の推進などにより、魅力と活力あふれる都市を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
<p>(仮称) 丘珠縄文遺跡公園整備・運営事業</p> <p>市) 文化部 [309百万円]</p>	<p>さとらんど内に保存されている丘珠縄文遺跡を活用して、食文化を始めとする縄文文化を体感できる施設を平成 30 年度までに整備し、札幌の縄文文化の魅力を発信するとともに、さとらんど全体の魅力アップにもつなげていきます。</p> <p>○ (仮称) 丘珠縄文遺跡公園年間来場者数 H26 : - ⇒ 目標 (H31) : 60,000 人</p>
<p>札幌ドーム保全事業</p> <p>ス) スポーツ部 [3,883百万円]</p>	<p>開業から 14 年が経過している札幌ドームについて、計画的に保全改修工事を行い、大規模イベントなどを継続的に開催できる環境を保ちます。</p> <p>○ 保全事業の実施率 H26 : 5% ⇒ 目標 (H31) : 50%</p>

施策7 持続可能な都市を支えるネットワーク ①交通ネットワーク

過度な自動車利用を控えた生活を支える、公共交通を中心とした交通ネットワークを更に活用していくため、交通結節点の整備や、地下鉄の利便性の向上などによる利用促進を図るとともに、地域の移動を支えるバスネットワークの維持・向上に向けた取組などを進めます。

また、都心での快適な移動を支えるとともに、個性的な景観や魅力的な空間を演出する路面電車については、そのループ化の推進や延伸の検討を進めるとともに、路面電車沿線の魅力向上を図ります。

さらに、市内交通の円滑化を図るとともに、都市間・地域間連携や空港・港湾へのアクセスを支える骨格道路網を始めとする交通ネットワークの強化を図ります。

加えて、北海道新幹線の札幌延伸効果を道内に波及させるためにも、これを見据えた交通ネットワークの強化などにより、市民生活や経済・観光などを支える円滑な交通ネットワークの構築を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
苗穂駅周辺地区まちづくり推進事業 政) 都市計画部、(建) 土木部 [14,165百万円]	苗穂駅周辺地区において、JR苗穂駅を移転・橋上化するとともに、自由通路、駅前広場、ネットワーク道路などの公共施設の整備を進め、にぎわいや活性化をもたらすまちづくりを推進します。 ○事業の進捗 H26：設計・補償 ⇒ 目標 (H31)：事業完了
大通バスセンター改修事業 政) 総合交通計画部 [11百万円]	都心部の主要な交通結節点である大通バスセンターについて、利用者の安全確保、施設の円滑な維持管理のため、施設の老朽化に対応した改修をします。 ○大通バスセンターの改修 H26：－ ⇒ 目標 (H28)：改修
バスロケーションシステム導入支援事業 政) 総合交通計画部 [63百万円]	バスロケーションシステム ⁸⁹ の導入を促進し、利用者にバスの運行情報をリアルタイムで提供することにより、冬季を中心としたバスの定時性に関する満足度を高めるなど、バスの利便性を向上させます。 ○バスロケーションシステム導入率 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：100%
公共交通ネットワーク確保対策事業 政) 総合交通計画部 [3,662百万円]	乗合バス路線維持に係る補助や地域の交通体系確立に向けた基本的な方針を策定するほか、地域の特性に応じた効率的で使いやすい地域公共交通体系の在り方を検討します。 ○地域交通体系の在り方検討 H26：－ ⇒ 目標 (H29)：検討実施
路面電車活用推進事業 政) 総合交通計画部 [2,207百万円]	路面電車沿線の活性化などを図るため、既設線の振動・騒音を抑える制振軌道化や低床車両の導入など、路面電車の利便性向上に向けた取組を実施します。 ○路面電車の制振軌道化率 H26：58% ⇒ 目標 (H31)：75%

⁸⁹ バスロケーションシステム：GPS（全地球測位システム）等を用いてバスの位置情報を収集し、携帯端末やパソコン等にバスの運行情報を提供するシステム。

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
道路交通調査事業 政) 総合交通計画部 [85 百万円]	既存道路ネットワークの機能強化のため、渋滞緩和などの道路交通円滑化対策を進めるほか、社会情勢の変化を踏まえた都市計画道路の見直しを進めます。 ○交通円滑化対策プログラムの改定 H26：－ ⇒ 目標 (H29)：改定
総合交通計画改定 政) 総合交通計画部 [36 百万円]	今後迎える人口減少・超高齢社会など社会情勢の変化を見据え、地下鉄などの公共交通ネットワークや道路ネットワークの在り方を検証・検討し、札幌市総合交通計画の改定を行います。 ○札幌市総合交通計画の改定 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：改定
地下歩行ネットワーク 拡充検討事業 政) 総合交通計画部 [20 百万円]	都心来訪者の快適な回遊性を高めるとともに、にぎわいのあるまちづくりの創出を支えるため、地下歩行ネットワークの拡充について検討を行います。 ○地下歩行ネットワークの拡充実施方針の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：策定
J R 駅バリアフリー化 補助事業 政) 総合交通計画部 [96 百万円]	J R 北海道が行う鉄道駅のバリアフリー化工事に対して補助を行います。 ○バリアフリー化された J R 駅数 H26：17 駅 ⇒ 目標 (H31)：19 駅
地域公共交通利用環境 改善事業 政) 総合交通計画部 [80 百万円]	清田区のバス利用者へのサービスアップの取組のほか、公共交通確保・維持改善に向けた調査や、お年寄りや障がい者などにも乗りやすいノンステップバスへの補助などを通じて公共交通の利便性向上を図ります。 ○ノンステップバス導入率 H26：18.8% ⇒ 目標 (H31)：30.6%

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
パークアンドライド駐車場関係事業	政) 総合交通計画部	[123 百万円]
交通施設計画推進事業	政) 総合交通計画部	[60 百万円]
生活道路等整備事業	建) 土木部	[23,904 百万円]
電車通拡幅整備事業	建) 土木部	[7,189 百万円]
骨格道路網等整備事業	建) 土木部	[50,632 百万円]
道路標識整備事業	建) 土木部	[532 百万円]

施策8 持続可能な都市を支えるネットワーク ②みどり豊かな空間のネットワーク

みどりの持つ機能が効果的に発揮されるように、骨格的なみどりのネットワークである環状グリーンベルトやみどりの軸（オープンスペース・コリドー）の充実につながる公園・緑地・河川の整備、みどりの保全を推進します。また、人口構造の変化などに伴い、公園などの利用形態も変化していることから、地域のニーズなどに合わせた公園の機能再編や再整備に取り組むほか、都心周辺部では、公園・緑地を整備するとともに、再開発や緩和型土地利用計画制度などを活用しながら、良好なオープンスペースの充実を図ることなどにより、札幌らしい、みどり豊かな都市を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
ふれあい緑花推進事業 建) みどりの推進部 [443 百万円]	市民や観光客が訪れる都心の街角、交流を深める地域の歩道、子どもの集まる保育・教育施設などを対象として、北国の美しい花やみどり豊かな景観づくりを進めることにより、街の魅力を高めます。 ○コンテナガーデンや壁面緑化の設置箇所数（累計） H26：100カ所 ⇒ 目標（H31）：150カ所
公園造成整備事業 (単独・補助) 建) みどりの推進部 [6,063 百万円]	みどり豊かなまちづくりを推進するため、公園緑地の整備・再整備を進めます。 ○整備・再整備を行った公園緑地の面積 H26：39ha ⇒ 目標（H31）：93ha
都心のみどり景観魅力アップ事業 中) 土木部 [17 百万円]	みどり豊かで魅力ある景観とするため、大径木の街路樹に対し美しい樹形への作り直しを計画的に進めます。併せて、根の伸長・肥大化による歩道やロードヒーティングの破損を防ぎ、安全性を向上しつつ、大径木を保全する施策を進めます。 ○枝の作り直しが完了した街路樹の数（累計） H26：－ ⇒ 目標（H31）：62本

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
健やかな道路緑化推進事業	建) みどりの推進部	[1,082 百万円]
みどり豊かなまちづくり支援事業	建) みどりの推進部	[152 百万円]
市民と創るさっぽろのみどり推進事業	建) みどりの推進部	[122 百万円]
市民との協働による河川環境整備事業	下) 総務部	[178 百万円]

施策9 持続可能な都市を支えるネットワーク ③エネルギーネットワーク

低炭素社会と脱原発依存社会の実現のために、既存の熱供給に関する基盤を有効に活用しながら、都心や拠点などにおいて、自立分散型のエネルギー供給体制と、これをつなぐネットワークの確立を進めるとともに、都市開発などに合わせたエネルギーネットワークの構築などを促進します。

また、再生可能エネルギーに関する広域的な活用促進などによる創エネルギー⁵⁴の推進により、エネルギーの利用効率と安定性が高い都市を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
都心エネルギーネットワーク構築推進事業 【再掲】 政) 政策企画部 [389百万円]	世界の環境モデルとなる街を目指し、CO ₂ 削減と災害に強いまちづくりを進めるため、都心において熱と電力を効率的に供給する自立分散型エネルギーネットワークを構築します。 ○(仮称) 都心エネルギーマスタープランの策定 H26：－ ⇒ 目標 (H28)：策定

施策10 都市基盤の維持・保全と防災力の強化

公共サービス経費の増大を抑制しながら、ニーズに合わせた効果的な市民サービスの提供により市民生活の利便性を確保していくために、将来的な人口規模などを見据えながら、都市基盤¹の効率的かつ計画的な維持・保全や機能の見直し・複合化などを推進します。

また、地震や大雨などの災害に強い都市を構築していくために、施設や道路・上下水道などの維持・保全と併せて、耐震化などを計画的に進めることにより、安全・安心な市民生活が実現する都市を目指します。

主な事業

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
札幌市強靱化計画策定 政) 政策企画部 [6百万円]	災害に強い、安全・安心な都市を構築するため、国土強靱化基本法に基づき地方自治体が定める国土強靱化に関する地域計画を策定します。 ○札幌市強靱化計画の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H27)：策定
(仮称)札幌市スポーツ施設配置・活用計画策定 ス) スポーツ部 [5百万円]	施設の更新需要の集中など今後の社会情勢の変化に対応しながら、スポーツ施設を更に有効に活用していくため、スポーツ施設の配置・活用に関する計画を策定します。 ○(仮称)札幌市スポーツ施設配置・活用計画の策定 H26：－ ⇒ 目標 (H28)：策定
藤野野外スポーツ交流施設リニューアル検討事業 ス) スポーツ部 [228百万円]	市民が身近にスポーツを楽しめる環境を整えるため、老朽化が進んでいる藤野野外スポーツ交流施設のリフトの更新を行うほか、施設の活性化に向けた調査・検討を行います。 ○リフト1基の更新 H26：－ ⇒ 目標 (H29)：完了
スポーツ施設リフレッシュ事業 ス) スポーツ部 [474百万円]	市民が安全・快適にスポーツに親しめる環境を維持していくため、札幌市が管理している野球場やジャンプ競技場などのスポーツ施設の計画的な保全、改修、大型備品の更新を行います。 ○改修工事の実施施設数(累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：9施設
豊平区土木センター改築事業 建) 総務部 [622百万円]	災害時の応急活動拠点である豊平区土木センターについて、老朽化への対応及び耐震性強化のため、建て替えを行います。 ○豊平区土木センターの改築 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：改築
橋りょうの耐震補強事業 建) 土木部 [3,642百万円]	緊急輸送道路に指定されている道路などの橋りょうについて、災害時の救急・消火及び緊急物資の輸送などの重要な機能を確保するため、橋脚の補強や落橋防止などの耐震補強を実施します。 ○緊急輸送路などに架かる橋りょうの耐震化率 H26：62% ⇒ 目標 (H31)：80%
道路等補修事業 建) 土木部 [13,559百万円]	道路利用者の安全・安心を確保するために、道路などの補修を計画的に実施します。 ○幹線・補助幹線舗装補修延長(累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：168km

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容
	活動指標
道路施設維持・保全事業 建) 土木部 [3,032 百万円]	市民の安全・安心の確保のため、トンネル、法面・擁壁、横断歩道橋など、各種道路施設の機能を維持します。 ○近接目視点検の実施率 H26：16% ⇒ 目標 (H30)：100%
舗装路面下の空洞対策事業 建) 土木部 [421 百万円]	道路陥没を未然に防ぐため、緊急輸送道路などを対象に、舗装路面の下に発生する空洞の調査及び補修を実施します。 ○年間空洞調査延長 H26：40km ⇒ 目標 (H31)：230km
橋りょう長寿命化修繕事業 建) 土木部 [18,736 百万円]	橋りょうの計画的かつ効率的な維持管理を行うため、事業費の平準化を図りながら予防保全を基本とした修繕を進めていく「橋梁長寿命化修繕計画」に基づく橋りょうの長寿命化を図ります。 ○補修完了橋りょう数 H26：65 橋 ⇒ 目標 (H31)：360 橋
総合的な治水整備事業 下) 総務部 [9,235 百万円]	大雨による被害を最小限にとどめるため、河川改修や流域貯留施設の整備を行い、水害に強いまちづくりを進めます。 ○「札幌市治水整備指針 ⁹⁰ 」の進捗率 H26：63% ⇒ 目標 (H31)：79%
下水道施設再構築事業 下) 総務部 [62,194 百万円]	都市化に合わせて集中的に整備してきた下水道管路及び処理施設について、今後一斉に老朽化が進行していくため、計画的に改築を進めることで下水道機能を維持し、安全で快適な市民生活を支えます。 ○下水道管路の改築延長 H26：127km ⇒ 目標 (H31)：224km
下水道施設災害対策事業 下) 総務部 [20,793 百万円]	大雨による浸水被害の軽減、地震時における下水道施設の機能確保のため、雨水拡充管整備などのハード対策と大雨に備えた情報提供などのソフト対策を総合的に組み合わせた災害対策を進めます。 ○雨水拡充管整備延長 H26：196km ⇒ 目標 (H31)：203km
市営住宅維持更新事業 都) 市街地整備部 [27,744 百万円]	市営住宅に住んでいる全ての方が安心して快適に生活できるよう、市営住宅の建て替えや耐震化、バリアフリー化などを進めます。 ○建替事業によるしゅん功戸数 (累計) H26：198 戸 ⇒ 目標 (H31)：642 戸
市有建築物の総合的な保全の推進 都) 建築部 [28,841 百万円]	今後一斉に更新時期を迎える市有建築物の長寿命化を図るため、計画的に保全します。また、保全に合わせて新エネ・省エネ技術の導入やバリアフリー改善を実施します。 ○計画的に保全した施設数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：70 施設
民間建築物耐震化促進事業 都) 建築指導部 [1,585 百万円]	災害に強い都市を構築するため、民間建築物の耐震診断や改修工事への補助を行うなど、建物所有者の耐震化への取組を支援します。 ○民間建築物 (非木造) の耐震改修工事補助件数 (累計) H26：2 件 ⇒ 目標 (H31)：16 件

⁹⁰ 札幌市治水整備指針：治水整備を効率的・効果的に実施するため、10年間の治水整備の進め方を定めた指針。(平成24年3月策定)

事業名・担当部 [計画事業費]	事業内容 活動指標
豊平川水道水源水質保全事業 水) 給水部 [15,032 百万円]	札幌市の水道水源の 98%を担う豊平川の上流域における恒常的な水質悪化要因を取り除くとともに、事故・災害発生時においても良質な原水を確保することを目的として、バイパスシステム ⁹¹ の整備を行います。 ○バイパスシステム整備率 H26：4% ⇒ 目標 (H31)：96%
白川浄水場改修事業 水) 給水部 [4,208 百万円]	安定した給水の確保、耐震化、経年劣化対策を目的として、札幌市の給水の約 8 割を担う白川浄水場を計画的に改修します。改修は浄水場の運転を一部停止する必要があり、その際に低下する能力を補うため新たな浄水場を建設します。 ○新浄水場の建設 H26：－ ⇒ 目標 (H30)：着工
水道施設耐震化事業 水) 給水部 [3,687 百万円]	大規模地震発生時においても良質で安全な水道水を安定的に供給するため、浄水施設及び配水池の耐震化を進めます。 ○配水池の耐震化率 H26：76.9% ⇒ 目標 (H31)：85.4%
配水管耐震化事業 水) 給水部 [17,556 百万円]	大規模地震発生時においても良質で安全な水道水を安定的に供給するため、配水幹線の連続耐震化を進めるとともに、病院などの重要施設へ向かう配水管の耐震化を進めます。 ○配水幹線の耐震化率 H26：38.9% ⇒ 目標 (H31)：42.7%
緊急貯水槽・緊急遮断弁整備事業 水) 給水部 [691 百万円]	地震などの災害時に飲料水を確保するため、拠点給水施設として緊急貯水槽 ⁹² を 5 カ所新設するとともに、避難所へ運搬する水道水を確保するため、異常を検知すると自動的に閉じる緊急遮断弁 ⁹³ を配水池に設置します。 ○緊急貯水槽設置数 H26：38 カ所 ⇒ 目標 (H31)：43 カ所
白川第 3 送水管新設事業 水) 給水部 [8,248 百万円]	安定した給水の確保、送水ルート多重化、耐震化、災害時の貯留機能を利用した応急給水を目的として、白川第 3 送水管を整備します。 ○白川第 3 送水管整備率 H26：37% ⇒ 目標 (H31)：100%
学校施設リニューアル改修事業 教) 生涯学習部 [8,276 百万円]	老朽化した学校施設の耐久性を高めることに加え、多目的スペースを設置するなど建物の機能や性能を向上させる改修を行います。 ○リニューアル改修事業実施校数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：15 校
学校施設緊急整備事業 教) 生涯学習部 [17,810 百万円]	児童生徒の安全や教育施設としての機能を確保するため、事後保全から予防保全への移行に向け、老朽化が進行している外壁や給水設備などについて、必要な改修工事を短期間かつ集中的に行います。 ○緊急整備対象校の改修率 H26：－ ⇒ 目標 (H31)：57.1%
学校給食施設整備事業 教) 生涯学習部 [980 百万円]	老朽化した学校給食室の衛生環境などを改善するため、床に水が落ちない構造の設備を使用し、床が乾いた状態で作業するドライシステムを導入した新たな給食施設を整備します。 ○計画期間内のドライシステム給食施設整備校数 (累計) H26：－ ⇒ 目標 (H31)：3 校

⁹¹ バイパスシステム：導水路を利用して、通常時にはヒ素やホウ素などを含む自然湧水等を浄水場の取水地点から下流にう回させ、事故・災害時には上流の良質な河川水を浄水場まで運ぶシステム。

⁹² 緊急貯水槽：災害発生時の飲料水を確保するための施設。学校や公園などに設置している。

⁹³ 緊急遮断弁：地震や配水管の破裂などの異常を検知すると、自動的に閉じることができる弁のこと。避難所などへ運搬する水道水を確保するため、配水池に設置している。

その他の事業

事業名	担当部	計画事業費
データセンター非常用発電設備整備事業	総) 情報システム部	[162 百万円]
イントラネットセキュリティ対策事業	総) 情報システム部	[513 百万円]
庁内データセンター化事業	総) 情報システム部	[126 百万円]
里塚斎場火葬炉修繕事業	保) 保健所	[1,975 百万円]
下水道整備・水質改善事業	下) 総務部	[4,919 百万円]
市有建築物特定天井対策事業	都) 建築部	[1,665 百万円]
民間建築物吹付けアスベスト対策事業	都) 建築指導部	[60 百万円]
震災対策用消防水利整備促進事業	消) 警防部	[177 百万円]
学校トイレ改善事業	教) 生涯学習部	[2,875 百万円]